

第53回 新潟市緑化審議会

議案第1号

保存樹等の指定について(諮問)

令和3年12月24日(金) 10時00分～
(新潟市役所本館 第3委員会室)

保存樹等とは

新潟市樹木の保存及び緑化の推進に関する条例 **第7条第1項**に規定

第7条 市長は、良好な緑の自然環境を確保し、かつ、美観風致を維持するため必要があると認める場合は、**市長が別に規則で定める基準**に該当する樹木又は樹木の集団（以下「樹木等」という。）を**審議会の意見をきいて**、保存樹又は保存樹林（以下「保存樹等」という。）として指定することができる。



保存樹207 ケヤキ



保存樹林10 ケヤキ



生垣3 ネズミモチ

表1: 保存樹等指定状況
(R3年11月末時点)

種 別	指定状況	
保存樹	238本	
保存樹林 (300㎡以上)	15件	36, 583㎡
保存樹林 (生垣)	5件	298. 1m

保存樹等の指定基準について

新潟市樹木の保存及び緑化の推進に関する条例施行規則**第3条**に規定

保存樹

次の①～⑤の一つに該当し、**健全**で、かつ、**樹容が美観上すぐれているもの**。

- ① 1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上であること。
- ② 高さが12m以上であること。
- ③ 株立ちした樹木で、高さが2.5m以上であること。
- ④ はんと性樹木で、枝葉の面積が20㎡以上であること。
- ⑤ 希少又は珍重価値が、特にすぐれていること。

保存樹林

次の①、②のうち一つに該当し、その集団に属する 樹木が**健全**で、かつ、その集団が**良好な生活環境を維持し、美観上すぐれているもの**。

- ① その集団が存する土地の面積が、300㎡以上であること
- ② 生垣をなす樹木の集団で、その生垣の長さが20m以上であること

保存樹等に対して市が行う支援

1.看板の設置



2.保存樹等の保存に関し必要な経費を予算の範囲内で助成

・報償金の交付

種 別	報奨金の額(年額)
保存樹	5,000(円／本)
保存樹林(樹木の存する土地が300㎡以上)	10(円／㎡)(上限100,000円)
保存樹林(生垣)	150(円／m)

・松くい虫の防除対策の対策費用を補助

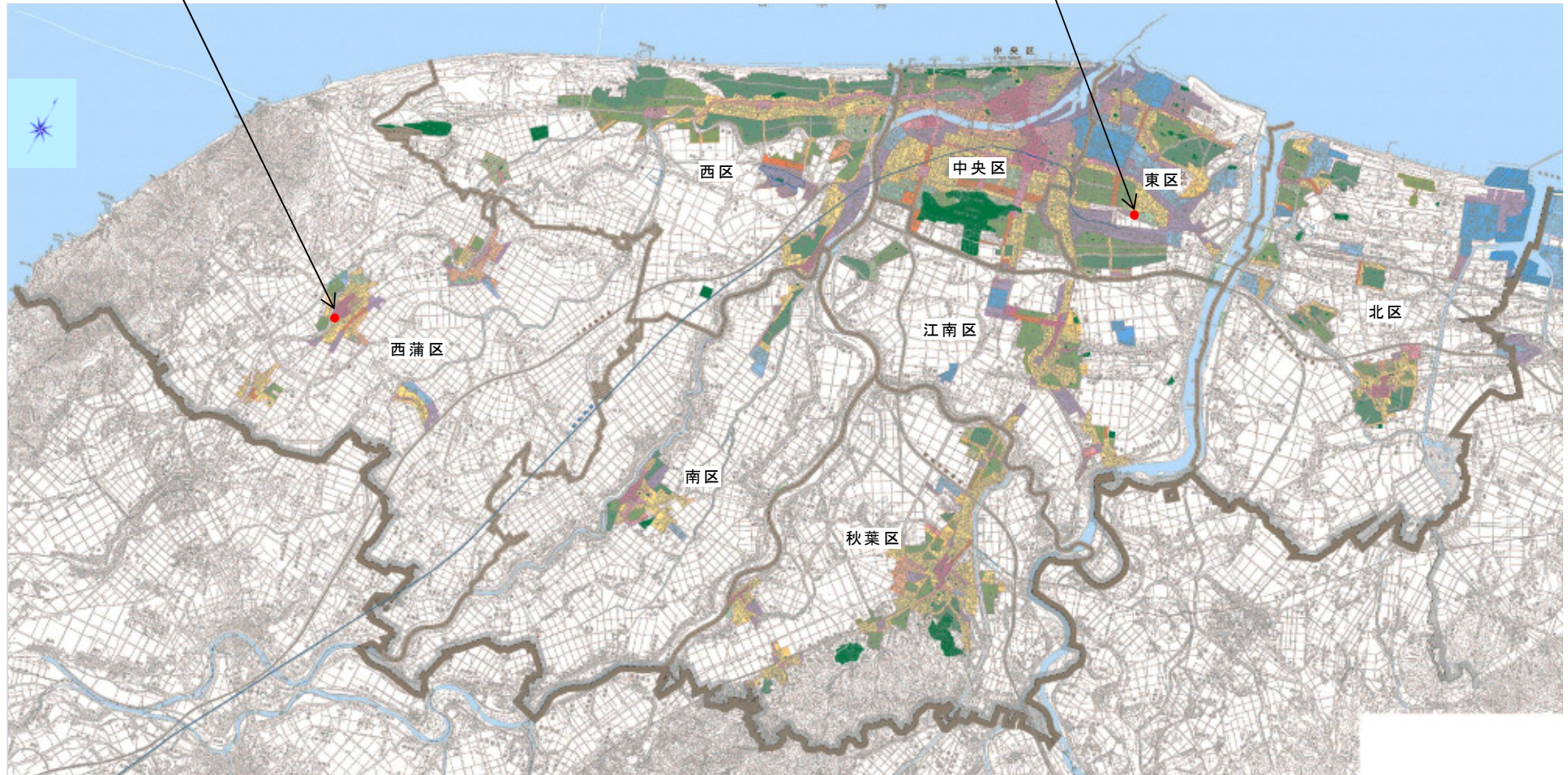
種 別	報奨金の額(年額)
樹幹注入	5,000(円／本)または15,000(円／本)(薬効期間6年以上の場合)
薬剤散布	5,000(円／本)
土壌灌注	5,000(円／本)

指定申請された樹木等の位置図

議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)

【西蒲区 巻甲527-1】
申請樹木2 樹種：フジ

【東区 寺山1丁目9-28】
申請樹木1 樹種：クロマツ



東区寺山にある、寺山八幡宮の境内にあるクロマツ



【申請樹木1】樹木等の所在地と全景

議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)



全景(撮影方向①)



【所有者からの聞き取り】

- ・寺山の鎮守八幡宮の境内に立つ、寺山のシンボリックな木とのこと。
- ・神社は寛永元年(1624年)頃に創立されたが、そのころからこの木はあったとされる。

クロマツ

【マツ科マツ属】

- ・本州、四国、九州の海岸近くに自生、または植林される
- ・高さは40m、幹の直径は2mにもなる
- ・樹皮が灰黒色で厚く深い亀甲上に割れ目ができはげ落ちる。和名は樹皮の色からきている。
- ・葉は2本、濃緑色で硬く、別名のオマツは硬い葉に由来している
- ・花は晩春に開き翌年の秋に種子が熟す



参考文献: 牧野富太郎(1997)『原色牧野植物大図鑑』(離弁花・単子葉植物編)北隆館.

【申請樹木1】 樹高及び幹周り計測状況 議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)

所在地	申請樹木	樹種	樹高 (m)	幹周 (m)
東区寺山	1	クロマツ	13.0	3.1

いずれも撮影方向①



【申請樹木1】 枝葉・幹の状況

議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)



いずれも撮影方向②



【樹木の特徴】

・特徴的な幹姿であるが、衰弱した様子も見られず健全であると推測される。

【公開性について】

・所有者は地域のシンボルとして、広く公開していきたい意向。

議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)

【申請樹木1】

○指定基準を満たす樹高や幹周りの樹木であり、健全で樹容も美観上優れていると考えられることから、「新潟市樹木の保存及び緑化の推進に関する条例」第7条に基づき、今回申請のあった樹木を保存樹に指定してよろしいか諮問します。

【保存樹の指定基準】

新潟市樹木の保存及び緑化の推進に関する条例
施行規則第3条に規定

次の①～⑤の一つに該当し、
健全で、かつ、樹容が美観上すぐれているもの

- ① 1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上であること
- ② 高さが12m以上であること
- ③ 株立ちした樹木で、高さが2.5m以上であること
- ④ はんと性樹木で、枝葉の面積が20m²以上であること
- ⑤ 希少又は珍重価値が、特にすぐれていること

西蒲区巻にある、愛宕神社の境内にあるフジ



【申請樹木2】樹木等の所在地と全景

議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)



全景(撮影方向①)



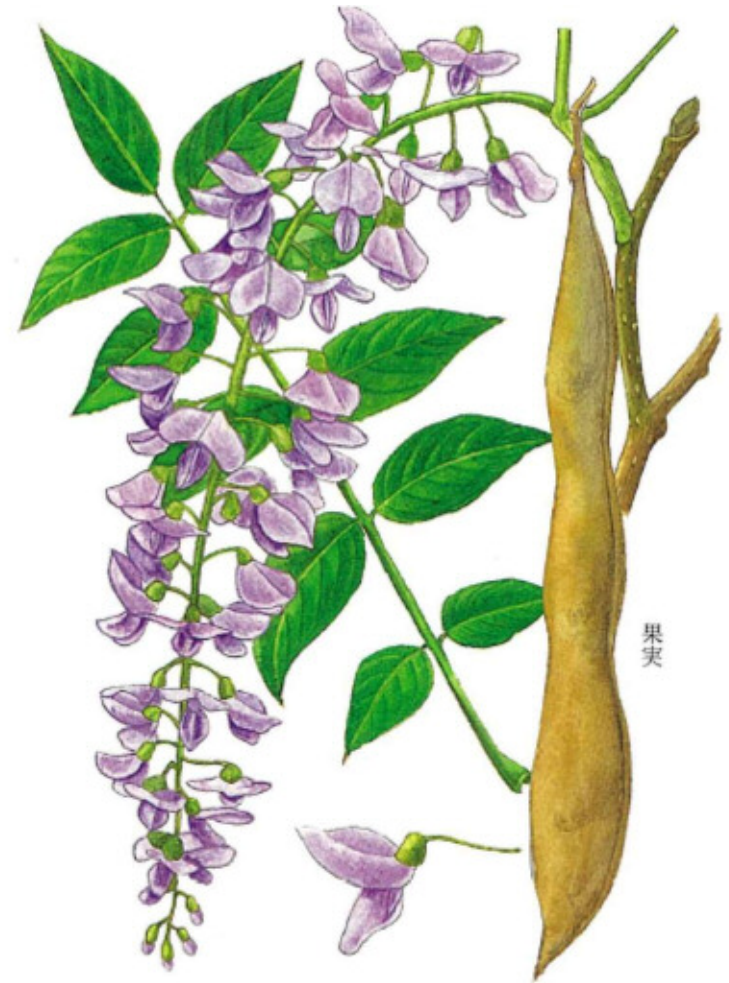
【所有者からの聞き取り】

- ・巻の愛宕神社境内にあり、推定樹齢100年を超えるとのこと。
- ・ムラサキフジとシロフジがあるとのこと。

フジ

【マメ科フジ属】

- ・本州、四国、九州の山野に生え、また観賞用として庭園に植栽される落葉つる植物
- ・花は春から初夏長さ30～90cmの花序を垂下げる
- ・園芸品種が多い



【申請樹木2】枝葉の面積計測状況

議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)

所在地	申請樹木	樹種	枝葉面積 (m^2)
西蒲区巻	2	フジ	102 m^2



全景(撮影方向②)

【申請樹木2】枝葉・幹の状況

議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)



【樹木の特徴】

- ・複数本で藤棚を形成している(10本)。
- ・各樹木の境界が不明確のため、藤棚をひとつの樹木として申請する。



【公開性について】

- ・巻駅から徒歩10分以内にある神社境内にあり、多くの方に親しまれている、公開性のある樹木

議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)

【申請樹木2】

○指定基準を満たす枝葉の面積を有するはんと性樹木であり、健全で樹容も美観上優れていると考えられることから、「新潟市樹木の保存及び緑化の推進に関する条例」第7条に基づき、今回申請のあった樹木を保存樹に指定してよろしいか諮問します。

【保存樹の指定基準】

新潟市樹木の保存及び緑化の推進に関する条例
施行規則第3条に規定

次の①～⑤の一つに該当し、
健全で、かつ、樹容が美観上すぐれているもの

- ① 1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上であること
- ② 高さが12m以上であること
- ③ 株立ちした樹木で、高さが2.5m以上であること
- ④ はんと性樹木で、枝葉の面積が20㎡以上であること
- ⑤ 希少又は珍重価値が、特にすぐれていること